

令和 2 年 度 事 業 報 告

はじめに

我が国は人口減少、少子高齢化が進行しており、65歳以上の人口は3,589万人となり、総人口に占める割合の高齢化率は既に28.4%に達しています。令和12(2030)年に31.2%、令和32(2050)年には37.7%になると見込まれています。シルバー人材センターは高齢者の就業機会の確保のための基盤として一定の機能を果たしていますが、65歳までの定年延長や継続雇用制度の義務化、高齢者の就業ニーズの多様化等により60歳代の入会者が減少し、会員の年齢層の上昇や新規会員の減少などの課題が散見しており、厳しい状況が続いているのも事実です。

こうした中、今年度は新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大という未曾有の事態に見舞われました。2度の緊急事態宣言発出により、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな打撃を受け、当センター事業にも影響が出ました。今年度の会員数は513人で前年度より7人増加しましたが、契約金額は268,946,526円（内派遣事業19,367,138円）となり、前年度と比較して19,485,942円(約7%)の減額となりました。また法制度においては、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が改正され、令和3年4月1日から70歳までの就業機会確保が企業の努力義務とされます。一方、シルバー人材センターについては、国は人手不足分野等での就業機会の開拓・マッチング機能や地域ごとの特色や実情を踏まえた積極的な取組を強化すると通達しています。

シルバー人材センターは、高齢者に「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な就業」を提供する組織です。多様な形態で高齢者の就業機会を確保し、安全・安心な事業を実施することによって、福祉向上と地域活性化に貢献できるように精進してきました。コロナ禍で自粛をした時期は有りましたがPRも兼ねて保育園や幼稚園等で、草刈り・窓ふき・清掃などの「ボランティア活動」や「うどん作り教室」などの独自事業も継続的に行いました。介護予防・日常生活支援の事業（通称 シルバーえぶろん）における生活支援サービスは少しずつ事業拡大ができています。事業規模は少ないですが空き家等の適切な管理も進めています。また、安定的な財政運営のためにさらなる経費の削減を図ることに努力してまいりました。

今年度で計画期間が終了する契約金額と会員の確保の目標を定めた「第1次中期計画」を検証し、課題・対策等の検討を行い、シルバー人材センターの所期の目的である高齢者の生きがいや活力ある地域社会づくりを目指すため、令和3年度からの5ヵ年計画である「第2次中期計画」を取りまとめました。今後の最重要課題は、入会促進による会員の確保であることは変わりありません。

事業推進実績状況

1. 就業に関する情報の収集及び提供

センターに活力を与え発展する源として会員の増加と就業の場の拡大が必要不可欠であるため次の事業を実施しました。

(1) 兵庫県、稲美町、播磨町、全国シルバー人材センター事業協会、兵庫県シルバー人材センター協会その他関係団体等を通じて情報を収集し、これを会員に提供して事業を推進しました。

- ① 全国シルバー人材センター事業協会主催
定時総会（議決権行使書提出） 6/25
- ② 近畿シルバー人材センター連絡協議会主催
定期総会（書面決議） 6/25
管内事務局職員研修会に参加 9/28・9/29
- ③ 兵庫県シルバー人材センター協会主催
 - 1) 定時総会（書面決議） 6/19
 - 2) 新任役員・事務局長研修会に参加 8/28
 - 3) 事務局長会議に参加（オンライン会議） 2/1
 - 4) 簿記研修会に参加 9/24
 - 5) 事務集中化参加センター担当者会議に参加（オンライン会議） 2/24
 - 6) 受動喫煙の防止等に関する条例の飲食店への周知啓発業務に係る説明会 10/27
- ④ 兵シ協東播ブロック会議に参加 12/22（南あわじ市）
- ⑤ 隣接シルバー人材センター広域連絡理事長会議に参加 3/5（オンライン会議）
（構成 神戸市・西宮市・芦屋市・明石市・加古川市・加古郡広域の6センター）
- ⑥ 兵庫県関係団体運営研修会に参加 11/30
- ⑦ 全国シルバー人材センター事業協会「会報誌」月刊「シルバー人材センター」及び、
他市町シルバー人材センターの「会報誌」等による情報の収集

(2) 一般家庭、民間事業所、公共団体等からの就業に関する情報の収集を行いました。（随時）

(3) 特色ある記事の掲載や、多く会員からの寄稿を取り入れるなど内容を充実した会報誌「シルバーだより」第68号を10月下旬に、第69号を2月下旬に年2回発行しました。

（稲美町支部 10,900部・播磨町支部 12,700部）

(4) 事務局通信を随時発行しました。

(5) 入会説明会等の情報を町発行の広報誌に毎月掲載しました。（播磨町）

2. 就業相談等の実施

地域における働く意欲のある高齢者に適正な就業や能力向上のための事業を実施しました。

(1) 毎月1回の入会説明会等を通じて入会の促進と適正就業相談を実施

① 稲美町支部・播磨町支部がそれぞれ別会場で、同日2か所を実施

(2) 未就業会員に対するミスマッチ等解消のため随時就業相談を実施

3. 就業機会の開拓及び提供

センターの趣旨及び事業の目的や内容などの周知を図り行政機関や民間事業所各方面に理解を得ながら仕事の開拓に努めました。

- (1) 一般家庭・民間事業所・公共団体等への開拓及びPR活動等を実施
- (2) センターの認知度を高め理解を得るために、独自事業に取り組み就業機会を拡大

4月～6月 1月～3月は緊急事態宣言発出等のコロナ禍のため自粛

- ① 粕漬加工
- ② もち加工
- ③ 麦飴・かりんとうの製造
- ④ 竹細工教室の開催 毎月第1・3水曜日
- ⑤ パソコン教室の開催 毎月第2・4火曜日
- ⑥ うどんづくり教室の開催 毎月第1・3月曜日
- ⑦ 絵画教室の開催 毎月第1金曜日
- ⑧ 就学前の幼児一時預かり(認可外保育施設「託児所幼児安心ルーム」)

4/1・4/13 (町内認可保育園等は通常どおりのため、感染対策を徹底したうえで実施)

8/11・8/12

- (3) 常にワークシェアリング・ローテーションに取り組み、基本理念とする「共働、共助」の具現化に努め「公平な就業機会」を確保
- (4) 掲示板等を活用して、就業情報の提供
- (5) 会員一人ひとりが就業開拓員として、身近なところから就業を拡大
- (6) 退会会員の減少を図るため高齢会員等の就業のあり方や新たな会員制度などの調査・検討
- (7) 介護予防・日常生活支援等の事業(通称:シルバーえぷろん)の就業機会の拡大(播磨町支部)
- (8) 行政と相互に連携・協力し、空き家等の適切な管理を進めることにより、良好な生活環境の保全及び安全で安心な「まちづくり」の推進に寄与(播磨町支部)
- (9) 稲美町ふるさと納税返礼品・墓参代行サービス・空き家見守りサービスの提供

4. シルバー派遣事業の実施

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業の実施事業所として行政機関など各方面に本事業の趣旨等を説明し、理解を求め就業機会の拡大を行いました。

5. 有料職業紹介事業

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事業所として適切・確実な有料職業紹介に取り組んでいますが、今年度の実績はありません。

6. 技能研修及び講習会の実施

親切・丁寧な仕事は、センターの事業推進にはなによりも大切なことで会員のマナーや技能の向上が必要であり、引き続き講習会等の開催に努め充実を図りました。

- (1) 就業先でのマナーによるトラブルの未然防止を図るため、接遇講習会の開催

4/27・4/28・6/5・6/29・7/15・1/29・2/10・3/1・3/22

- (2) 会員の技能の向上及び就業意欲の高揚を図るため、技能研修会等の開催
- ①草刈機等の安全使用講習会 10/16
 - ②剪定班職群別会議 6/29（資料配布）・7/14
 - ③草刈班職群別会議 6/22・6/30（資料配布）
 - ④除草班職群別会議 7/1（資料配布）
 - ⑤加工食品講習会（JA 主催）11/19
- (3) 就業時に発注者から苦情等があった場合は、即、実情を調査するとともに、納得できる適切な対応をより速やかに実施（随時）
- (4) 介護予防・日常生活支援サポーター養成研修に参加し、高齢者の介護予防や生活支援に関わる基礎知識を向上 10/14

7. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業推進委員会の充実と会員の安全・適正就業の推進に努めました。

- (1) 兵シ協主催 安全・適正就業推進委員会に参加 7/30・9/23・3/9(オンライン会議)
安全就業指導員会議に参加 1/15～1/22(YouTube)
安全・適正就業推進委員会の開催 6/30・2/22
兵シ協 安全・適正就業推進委員会訪問指導 3/11
- (2) 会員の就業環境や就業状況を確認するため、安全・適正就業推進委員会委員による「安全パトロール」を実施
- ① 稲美町支部委員 7/29（播磨町支部を巡視）・7/22（稲美町支部を巡視）
 - ② 播磨町支部委員 7/21（稲美町支部を巡視）・7/6（播磨町支部を巡視）
- (3) 安全就業の一層の推進を図るため、作業責任者は腕章をつけ、現場での内容確認の徹底と会員への周知を図り、危険と判断する就業は引き受けないなど安全な作業の実施
- (4) 交通安全意識を徹底するため、警察署の協力を得て、交通安全講習会を実施 11/12
- (5) 命を守る一環として及び緊急時に備えるため、消防署の協力を得て、
普通救命講習会（心肺蘇生・AED 取扱）を実施 2/17 防災訓練を実施 6/12
- (6) 就業中に交通事故を起こさない取り組みの一つとして、センターの自動車運転に係る会員の自動車運転適性検査の受講 2/10・2/12・3/19
- (7) 安全就業推進の運動として「安全標語」の募集 6/1～6/26
最優秀作品 1 点 優秀作品 3 点 佳作作品 5 点を選定し活用

8. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの仕組みや事業内容について未だによく理解が得られていない面があることから、各家庭や各種団体等に広く周知を図る事業を展開しました。

- (1) 会報誌「シルバーだより」を年 2 回発行し、稲美町・播磨町内の全戸に配布し情報の発信を行い、また理事が中心となつての会員の確保や就業の拡大

(2) シルバー人材センターの PR 活動

- ① 口コミによる会員募集を随時実施
- ② 町の広報に会員募集の記事を掲載
- ③ 入会説明会を実施 4/22・5/28・6/24・7/22・8/26・9/23・10/28・11/25・12/23・1/27・
2/24・3/24
- ⑥ トライやる・ウィーク受け入れ 稲美町支部 11/18 から 3 日間
- ⑦ 送迎（福祉）ドライバー講習会 10/5・10/6・10/8
- ⑧ 近隣シルバー人材センター等へ正月用もちの販売 12/28
- ⑨ 全国シルバー人材センター事業協会「会報誌」月刊「シルバー人材センター」を公共施設に配布

9. 事務事業等の見直し

センターの運営が厳しい状況となりつつあることから引き続き事務事業の見直しを図り、会員・役員・職員が一体となって組織の充実発展に取り組みました。また、税理士による諸帳簿類の確認及び指導を受け、適正化を図っています。

10. その他の事業

多様な形態での高齢者の就業機会を確保するため安全・安心な事業を推進し、会員の資質向上及び地域の方々に親しまれるセンターを目指し事業展開しました。

- (1) 会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、日帰りバス旅行の実施（コロナ禍のため中止）
- (2) 会員に健康管理に関する情報の提供と“自分の命は自分で守る”をモットーに、健康診断等の受診の勧奨、健康相談の実施（毎月第 2 木曜日）
4 月～6 月 1 月～3 月はコロナ禍のため中止
- (3) イベント等はコロナ禍のため開催はありませんでした。町内で活動している女性団体を対象にセンター事業の説明会を開催し入会促進に努めました。1/16
- (4) 情報開示について、より適正化を図るとともに個人情報の厳格化を徹底
- (5) 理事会の活性化を図り、理事による主体的な活動の実施
理事会の開催 5/8（書面決議）・7/13・11/27・3/19
- (6) 専門委員会の開催
安全・適正就業推進委員会の開催 6/30・2/22
広報委員会の開催 8/19・9/16・12/16・1/13
総務委員会の開催 7/27・1/28
支部理事会の開催 10/2・12/15
- (7) 地域貢献と啓発活動の一環としてボランティア活動を実施
幼稚園・保育園、子育て支援センターなどで、除草・清掃・ペンキ塗り等の作業を実施
6/10・7/8・9/9・10/14・11/11・12/9・3/10

年末一斉清掃（クリーンキャンペーン） 12/28

(8) 仕事の満足度について、発注者の意思・感想の把握など常に意識した取り組みを実施

(9) センターの健全な運営・適正就業のため、各種会議等の実施

① 総会の開催 5/27

② 監査の実施 令和元年度決算監査 5/1

令和2年度中間監査 11/11

令和2年度決算監査 4/30 予定

③ 税務相談・指導 藤岡税理士 1回/月

④ 会員の月初め朝礼 毎月1日

⑤ 安全運転管理者総会 8/31（書面決議）

⑥ 派遣元責任者講習会 1/29

⑧ 兵庫県東播磨県民局 認可外保育施設立入調査 6/26

⑨ 稲美町 指定管理業務行政監査 7/8

⑩ 中期計画委員会 12/9・2/12・3/10

令和2年度安全推進標語応募

最優秀作品

「朝のあいさつは 安全作業にかかせない 合言葉」

優秀作品 3点

「安全は 合図・連絡を 密にする！！」

「気のゆるみ 慣れた作業が 事故のもと」

「気のゆるみ 慣れた作業に 事故がまつ！！」

佳作作品 5点

「大丈夫と 思う心に 事故の魔の手」

「思い出せ ヒヤリで済んだあの教訓 一息入れて安全作業」

「気を抜くな！ 油断と不注意が 事故を生む」

「一寸の 油断が 事故のもと」

「慣れた 仕事に 危険あり！！」

令和2年度 正味財産増減計算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	249,579,388	265,631,888	△ 16,052,500
受取配分金	198,328,283	216,182,085	△ 17,853,802
受取材料費等	17,428,239	16,321,203	1,107,036
受取事務費	33,822,866	33,128,600	694,266
受取会費	1,203,800	1,223,000	△ 19,200
正会員受取会費	1,203,800	1,223,000	△ 19,200
受取補助金等	30,400,000	28,000,000	2,400,000
連合交付金	15,200,000	14,000,000	1,200,000
播磨町補助金	7,600,000	7,000,000	600,000
稲美町補助金	7,600,000	7,000,000	600,000
労働者派遣事業等受託収益	1,832,600	1,340,280	492,320
指定管理受託事業収益	21,793,839	19,091,045	2,702,794
雑収益	2,890,827	3,302,856	△ 412,029
受取利息	385	369	16
雑収益	2,890,442	3,302,487	△ 412,045
経常収益計	307,700,454	318,589,069	△ 10,888,615
(2) 経常費用			
事業費	293,415,055	310,174,167	△ 16,759,112
支払配分金	198,328,283	216,182,085	△ 17,853,802
支払材料費等	14,852,729	14,988,046	△ 135,317
給料手当	35,827,505	32,831,621	2,995,884
臨時雇賃金	812,653	897,888	△ 85,235
法定福利費	5,899,260	5,788,763	110,497
退職金掛金	3,241,110	2,734,464	506,646
福利厚生費	154,202	136,350	17,852
旅費交通費	38,260	46,620	△ 8,360
通信運搬費	914,366	919,506	△ 5,140
減価償却費	4,442	4,442	0
会議費	0	8,152	△ 8,152
什器備品費	330,400	502,894	△ 172,494
消耗品費	916,005	1,177,276	△ 261,271
修繕費	3,359,478	3,370,306	△ 10,828
印刷製本費	892,151	1,045,584	△ 153,433
光熱水料費	8,440,546	8,033,429	407,117
賃借料	3,465,471	5,452,751	△ 1,987,280
保険料	3,787,760	3,624,584	163,176
諸謝金	0	0	0
租税公課	2,515,256	2,744,521	△ 229,265
支払負担金	0	0	0
委託費	5,225,160	6,065,459	△ 840,299
町納付金	0	143,970	△ 143,970
支払手数料	31,268	34,428	△ 3,160
貸倒損失	0	26,211	△ 26,211
支払利息	88,321	0	88,321
リース資産減価償却費	1,577,037	0	1,577,037
賞与引当金	2,352,272	2,971,282	△ 619,010
雑費	361,120	443,535	△ 82,415

	当 年 度	前 年 度	差 異
科 目			
管理費	9,163,944	10,664,550	△ 1,500,606
役員報酬	1,122,000	1,155,000	△ 33,000
給料手当	3,161,796	5,112,300	△ 1,950,504
臨時雇賃金	90,292	99,764	△ 9,472
法定福利費	1,380,791	1,345,134	35,657
退職金掛金	747,300	629,616	117,684
福利厚生費	33,760	29,580	4,180
会議費	385,990	544,320	△ 158,330
役員等旅費交通費	6,000	7,520	△ 1,520
旅費交通費	4,980	19,780	△ 14,800
通信運搬費	189,214	196,200	△ 6,986
什器備品費	0	0	0
消耗品費	115,842	92,691	23,151
修繕費	118,720	0	118,720
印刷製本費	13,860	34,560	△ 20,700
光熱水料費	100,867	102,177	△ 1,310
賃借料	78,794	300,787	△ 221,993
保険料	26,100	26,100	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	207,094	264,929	△ 57,835
支払負担金	248,000	248,600	△ 600
委託費	229,800	170,000	59,800
支払手数料	4,074	12,096	△ 8,022
賞与引当金	588,068		588,068
雑費	310,602	273,396	37,206
経常費用計	302,578,999	320,838,717	△ 18,259,718
評価損益等調整前当期経常増減額	5,121,455	△ 2,249,648	7,371,103
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,121,455	△ 2,249,648	7,371,103
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
固定資産売却益	139,998	0	139,998
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除売却損	0	5	△ 5
経常外費用計	0	5	△ 5
当期経常外増減額	0	△ 5	5
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,261,453	△ 2,249,653	7,511,106
一般正味財産期首残高	27,660,136	30,152,943	△ 2,492,807
一般正味財産期末残高	32,921,589	27,903,290	5,018,299
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0
Ⅲ 正味財産 期末残高	32,921,589	27,903,290	5,018,299

財 産 目 録

(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	金 額	場 所 / 物 量 等	備 考
I 資産の部			
1.流動資産			
現 金(稲美町支部)	45,786	稲美町支部	運転資金(手元保管)
現 金(播磨町支部)	54,057	播磨町支部	運転資金(手元保管)
普通)JA兵庫南 天満支店	4,574,372	JA天満支店	運転資金
普通)JA兵庫南 播磨支店1	22,351,608	JA播磨支店	運転資金
普通)JA兵庫南 播磨支店2	267,416	JA播磨支店	運転資金(指定管理用)
普通)JA兵庫南 天満支店2	6,517,003	JA天満支店	運転資金(指定管理用)
普通)但陽信金 本荘支店 (現金預金計)	2 (33,810,244)	但陽本荘支店	商品券換金口座
未収金(稲美町支部)	9,240,895	稲美町役場等 71件	未回収事業収入
未収金(播磨町支部)	10,276,879	播磨町役場等144件	未回収事業収入
立替金	2,900	次年度役員賠償保険料	本人負担分立替
前払金	145,820	次年度保険等	役員・賠償保険料等
流 動 資 産 合 計	53,476,738		
2.固定資産			
(1)基本資産			
基本)定期預金	0		
(2)特定資産			
減価償却引当預金	0		
(3)その他の固定資産			
車輛運搬具	11	稲美町支部 11台	公益目的事業に使用
車輛運搬具	3	播磨町支部 3台	公益目的事業に使用
什器備品	4	稲美町支部 4点	公益目的事業に使用
什器備品	8,882	播磨町支部 2点	公益目的事業に使用
電話加入権	222,768	稲美2回線 播磨1回線	
預託金	16,210	稲美1台 播磨1台	自動車リサイクル料
リース資産	2,245,903	稲美町支部	シルバーシステム
リース資産	2,485,210	播磨町支部	シルバーシステム
固 定 資 産 合 計	4,978,991		
資 産 合 計	58,455,729		
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金(稲美町支部)	8,790,108	未払配分金等	
未払金(播磨町支部)	8,863,327	未払配分金等	
預り金	68,232	役職員所得税 社会保険料等	
前受金	9,600	次年度会費前納分	
仮受金	0		
賞与引当金	2,940,340	次年度職員賞与引当金	
一年以内返済予定リース債務	1,577,037	次年度返済予定分	シルバーシステム
流 動 負 債 合 計	22,248,644		
2.固定負債			
リース債務	3,285,496		シルバーシステム
固 定 負 債 合 計	3,285,496		
負 債 合 計	25,534,140		
III 正味財産の部			
1.一般正味財産			
一般正味財産合計	32,921,589		
正 味 財 産 合 計	32,921,589		

公益社団法人加古郡広域シルバー人材センター 役員名簿

令和3年3月31日

理 事 長	星子 克己
副 理 事 長	甲谷 克己
理 事	田中 勲
理 事	木暮 徹
理 事	宮本 竹男
理 事	福田 美佐子
理 事	畠 フミ子
理 事	田端 寿弘
理 事	梶原 好郎
理 事	大辻 明美
理 事	長谷川 康子
常 務 理 事	津村 道彦
監 事	吉田 邦子
監 事	宇佐美 隆史